

原子力安全対策課櫛葉町駐在の活動状況について

東京電力の廃炉に向けた取組の監視体制を強化するため、平成26年4月1日から櫛葉町に、原子力安全対策課職員3名、原子力専門員1名、専門員1名の計5名が駐在し、福島第一原子力発電所のトラブル発生時などの迅速な情報収集や状況確認を行っています。

1 福島第一原子力発電所の現地確認について

職員2名体制でローテーションを組んで、毎日、原子力発電所に立ち入りし、トラブル発生時の状況確認、廃炉作業の進捗状況の確認、県の申し入れ事項への対応状況の確認などを現地に行っています。日常の業務は次のとおりです。

(1) 東京電力からの説明聴取

免震重要棟において、東京電力(株)から最新のプラント管理状況、トラブル発生状況(原因、再発防止対策など)、県の申し入れ事項に対する対応状況などを確認しています。

(2) プラント関連パラメータの確認

原子炉注水状況、原子炉圧力容器底部温度、原子炉格納容器内温度、窒素封入流量、水素濃度、使用済燃料プール水温度などの各種パラメータについて確認しています。

(3) 現場確認

タンクエリア、地下水バイパス設備、凍土遮水壁試験施設、多核種除去設備、4号機使用済燃料プールなどの確認を要する箇所の調査計画を定めて、現場確認しています。また、トラブル発生時には速やかに現場確認を行っています。

最近の主な活動内容は裏面のとおりです。

■地下水バイパス設備

地下水バイパス一時貯留タンクや揚水井からの採水状況を確認。



(4/15 一時貯留タンクからの採水状況)



(4/18 揚水井 No.12 からの採水状況)

■タンクエリアの漏えい対策

H6エリアのタンク上部からの漏えいに係る対策として、汚染土撤去、堰内の被覆状況を確認。



(4/10 H6 タンクの汚染土撤去現場)



(4/10 堰内の被覆（ウレタン施工）状況)

■トラブル事象の現地調査

集中廃棄物処理施設の焼却工作建屋への滞留水誤移送、H5タンクエリア脇のプラスチックタンク水漏れの現場を確認。



(4/14 焼却工作建屋の弁の管理状況)



(4/14 プラスチックタンク水漏れ現場)